

令和8年度(2026年度) 1学期終業式

418名が乗った第三中学校という大きな船が、1学期の旅を終え、夏休みという港へ無地到着しました。「笑顔・前向き・感謝・尊重」できた航海だったでしょうか。

私は、始業式の日に次のような話をしました。「新しい学級での新しい友だち、新しい担任・新しい教科担当・新しい部活動の先生たち、もちろん継続してお世話になる先生達と「うきうき・ドキドキ・ワクワク」の旅が始まります。旅の途中、各学年・各学級・個人で、時には主役、時には主役を支える役、時には裏方として、素敵な物語を創って行って下さい。皆さんがこれまで蓄えた力を発揮したり、さらに力を蓄えたりできるような旅となることを私は切に願っています。」

1学期の旅を終え、この私の願いは、叶えられているのでしょうか？

ここで、クルーを代表して、生徒会長・尾崎さんに1学期を振り返ってもらいましょう。

皆さんは三中という船の中で、それぞれが自分の目標に向かって進んできました。船長の私からすると、1学期の学校生活という大海原での航海は、概ね順風満帆な日が多かったと思います。しかし、君たち一人一人にとっては、嵐に遭遇して心穏やかでない日もあったかもしれません。でも、生徒・先生たちみんなの協力で今日を迎えることができ、まずはホッとしています。

私は、この1学期、皆さんがそれぞれの持ち場で一生懸命努力している姿をたくさん見てきました。授業に真剣に取り組む姿、部活動で汗を流す姿、係活動や委員会活動で責任を果たす姿、そして何より、友達と協力し、助け合う姿。皆さんの頑張り一つ一つが、三中という大きな船を前に進める原動力となっていました。

新しい環境に慣れ、日々成長していく1年生。先輩と後輩の間をとりもってバランスよく活躍した2年生。そして、体育祭を盛り上げ、部活動で後輩を引っ張り、いよいよ進路選択を具体的に考え始めた3年生。それぞれの学年で、それぞれの課題と向き合い、よく頑張っていました。

しかし、どんなにたくさんのクルーが活躍している大きな船でも、旅の途中で船や一般社会のルールを無視したり、他の船に迷惑をかけたりすれば、安全に港にはたどり着けません。

学校や社会には、皆さんが安全に、そして安心して学ぶためのルールがあります。それは、私たちの船が座礁しないように、他の船とぶつからないようにするための大切な灯台のようなものです。この灯台の光を見失わないように、夏休み中も、そして2学期にも、自分自身の行動に責任とプライドを持ち、三中という船の一員であるという自覚も持ち、周りの人への配慮を忘れず、正しい行動をしてください。

特に夏休みは、学校から離れて自由な時間が増えます。だからこそ、自分の行動や発言には一層責任を持つ必要があります。特にSNSなど、顔が見えないコミュニケーションでは、安易な発言が大きな問題に発展することもあります。常に相手を尊重し、思いやりのある態度で行動してください。

結びに、この1学期の航海で、皆さんが見せてくれた努力と成長は、素晴らしいものでした。この夏休みも充実した時間を過ごしてください。

また、「白黒」「赤」「白」の3つの車には絶対にお世話にならないようにしてください。

では、2学期始業式に、心身共にたくましく成長した皆さんと旅ができることを楽しみにしています。